

共栄児童館 平成26年度事業評価表

項目	区分	具体的内容	実施日	目標・ねらい		年度評価		平成25年度の実施状況				平成26年度の実施状況				取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
				回数	ねらい	H25年度	H26年度	平成25年度の実施状況		平成26年度の実施状況						
								実施回数	参加人数	実施回数	参加人数					
乳幼児と保護者を対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ ・ちびっこクラブ ・にこにこクラブ ・すくすくクラブ ・キンダークラブ ・えいごであそぼう ・リトミックド・レ・ミ	月2回程度	80	目標回数:90回程度 乳幼児の親子が様々な活動に参加できる場を提供し、育児についての情報交換や仲間づくりを進めることにより子育てを支援する。年齢ごとの集団での親子遊び、集団遊びを通じて、楽しむ中で情報を得たり、仲間づくりをしたりすることによって子育てを支援する。	11	12	63	乳幼児	768	86	乳幼児	923	・26年度前期の乳幼児親子の来館者数が25年度より減少したが、東山・若葉台での移動児童館の遊びの提供の楽しさを知っていただくことができ、後期は、多数の乳幼児親子が、来館し、乳幼児クラブに参加するなど来館者の増加に繋がった。 ・26年度からクラブ化した「えいごであそぼう」「リトミックドレミ」は楽しいととても好評で来館増加にもつながるため今後も継続して行っていく。		
		小学生	0	小学生	7											
		中高生	0	中高生	0											
		大人	739	大人	824											
		② 自由参加型事業 ・ママといっしょ ・おはなしあのね ・駅北広場であそぼう	毎月1回	20	・「ママといっしょ」では、さつま芋苗植え、芋ほり、大根、かぶめき体験などの体験も地域や有志の方の好意で楽しめた。また、「おはなしあのね」は参加が減ってきているため、27年度は工作と組み合わせで実施いく。			28	乳幼児	220	24	乳幼児	147			
		小学生		小学生					1							
		中高生		中高生					6							
		大人	207	大人					107							
		③ 母親クラブの育成と支援 ・ハッピーママ	10月より毎月1回	5				・母親クラブが25年度で解散となったので、26年度は、後期より職員が主となり、母親がやってみたくて行うママクラブ事業を始めた。「日々子育てに追われ、家ではできないことが児童館でできて楽しい」ととても好評。27年度も母親支援を継続して、母親クラブの土台づくりに努めていく。	14	乳幼児	75	5	乳幼児		51	
		小学生	15	小学生						0						
中高生	0	中高生	0													
大人	109	大人	48													
小計		105					105	乳幼児	1063	115	乳幼児	1121				
								小学生	15		小学生	8				
								中高生	0		中高生	6				
								大人	1055		大人	979				

項目	区分	具体的内容	実施日	目標・ねらい	年度評価		平成25年度の実施状況				平成26年度の実施状況				取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
					H25	H26									
児童を対象とした事業	1	① 小学生クラブ ・一輪車クラブ ・子どもスタッフ ・キッズママ	月1・2回程度	50	目標回数:100回程度 小学生のクラブを指導し、自主性や創造性を育て、協調性を養うとともに障がいのある児童も共に遊ぶことができる場をつくり相互理解を深める。	11	14	60	乳幼児	13	44	乳幼児	1	・子どもスタッフが、じどうかんまつりを昭和をテーマにしたいという意見で、地域を巻き込みながら昭和の体験ができるおまつりになるよう企画・準備・進行を行い、達成感が味わえた。 ・キッズママでは、食改善協会や地域の有志の方に協力してもらい、講師となってもらい調理実習や編み物を指導していただいた。	
		小学生	549	小学生					462						
		中高生	0	中高生					0						
		大人	51	大人					53						
② 自由参加型事業（小学生） ・つくってあそぼう ・卓球をしよう ・みんなであそぼう	月2回程度	50	11	14	58	乳幼児	3	88	乳幼児	29	・「みんなであそぼう」を一般対象から児童対象でカウントした。来館する子が、カレンダーを見て「今日はみんなであそぼうの日だ」とうれしそうに参加する。内容は来た子で考え、やりたいことを中心に行った。中高生は卓球を楽しみに遊びに来るので小学生とも交流できるように声をかけ一緒にできるように実施した。				
小学生	165	小学生				619									
中高生	0	中高生				18									
大人	15	大人				51									
③ 季節事業 ・母、父、敬老の日プレゼントづくり ・サマースクール ・段ボール工作 ・デイキャンプ ・科学工作 ・クリスマス会 ・まめまき	各年1回	10	11	14	12	乳幼児	2	20	乳幼児	10	・クリスマス会では、陶都中学校の吹奏楽部を招き、目の前で大迫力の演奏を聞いた後、楽器クイズを中学生が考えてきてくれたり、一緒にレクリエーションも行い、中学生が盛り上げてくれてとても楽しかったしよい交流となった。「地元で良い交流ができたので、これを機会に引き続いて行っていこう」と学校の先生から話をしてくれ、27年度も実施していく。				
小学生	105	小学生				138									
中高生	13	中高生				48									
大人	22	大人				37									
小計		110			130	乳幼児	18	152	乳幼児	40					
						小学生	819		小学生	1219					
						中高生	13		中高生	66					
						大人	88		大人	141					
多世代間交流事業	1	① 多世代間交流 ・高田焼まつり ・地域の敬老会プレゼントづくり ・高田ふれあいクラブ共催事業 ・多治見まつり一輪車クラブ参加 ・ハロウィンパーティーデー ・もちつき体験と花もちづくり	各年1回	20	目標回数:12回程度 行事や児童館まつりなど誰でもが参加できる行事を実施し、地域間及び多世代間の交流を深め、子どもが育つ環境づくりを地域ぐるみで取り組む。	11	12	23	乳幼児	162	17	乳幼児	186	・25年度は、乳幼児親子のみ対象で行ってきた「ハロウィン」。日本でも盛り上がりが出てきたことを捉え、午後からも園児親子から児童対象までと枠を広げた。地域の方を巻き込んで行い、1日で100人ほどの来館者があり、とてもにぎわい好評だった。 ・「もちつき」については、衛生面から児童館主催では実施ができなくなり、26年度は、青少年まちづくり推進員が主催となり、「もちつき体験」として継続して行った。中学生ボランティアの多数の参加があり、「もちつき体験」を盛り上げてくれた。ついたお餅は、花餅にして持って帰れるようにした。食べられないということで参加者は3分の1に減少したが、大切な伝統行事を無くすことなく子どもたちに伝えていくことができる環境を整え、27年度も行事に取り組んでいきたい。	
		小学生	328	小学生					343						
		中高生	20	中高生					41						
		大人	247	大人					468						
小計		20			23	乳幼児	162	17	乳幼児	186					
						小学生	328		小学生	343					
						中高生	20		中高生	41					
						大人	247		大人	468					

項目	区分	具体的内容	実施日	目標・ねらい		年度評価		平成25年度の実施状況		平成26年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価		
				H25	H26									
一般来館者（乳幼児から大人）を対象と	1	① 一般対象 ・きりえ ・おはなしいろは ・おりがみであそぼう ・不審者対応訓練 ・避難訓練と煙体験	月2・3回 訓練は年1回	60	目標回数：50回程度 乳幼児から大人まで参加者を限定しない、日頃、誰でもが参加できる遊びや行事を実施し、初めての人の来館・参加を促すとともに、参加者相互の交流を深める。	10	11	72	乳幼児	7	83	乳幼児	32	・4月より、「毎月の折り紙」の見本を掲示すると、興味をもった子が参加できた。幼児親子の目にもとまり喜んで親子で折り紙遊びを楽しめた。 ・避難訓練の一環で、消防署の協力を得て、「煙体験」を図書室で行った。煙が部屋一面になり、火事の恐ろしさを体感できた。また、不審者対応訓練では、大体の時間は決めてあったものの、警察官に扮する不審者がいつどこから現われるかわからなく、とても緊張感ある訓練となった。いざという時の備えは、身にしみて大切だと参加者も痛感した。
									小学生	377		小学生	331	
									中高生	15		中高生	13	
									大人	5		大人	38	
									小計			60		
						小学生	377		小学生	331				
						中高生	15		中高生	13				
						大人	5		大人	38				
子どもボランティア事業の実施	1	① 子どもボランティア	年15回	12	目標回数：12回程度 児童館内でボランティア活動の場を設定し、地域の子どもたちが、それぞれの地域で活動できるよう人材育成を進める。	10	13	13	乳幼児	0	26	乳幼児	0	・児童館の館庭の草取りを始め、お祭りなどの看板作りも「手伝う！」と子ども達から意欲的に手伝った。玄関が砂で汚れている時、職員が毎回ほうきではいているのを見ていた子どもが、汚れを見つけると、自分から玄関の掃除をしてくれるようになった。自分で気がついてできる子ども達を、ほめて伸ばしボランティア育成をしていきたい。
									小学生	53		小学生	105	
									中高生	0		中高生	1	
									大人	0		大人	6	
									小計			12		
						小学生	53		小学生	105				
						中高生	0		中高生	1				
						大人	0		大人	6				

項目	区分	具体的内容	実施日	目標・ねらい	年度評価		平成25年度の実施状況				平成26年度の実施状況				取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
					H25	H26	乳幼児	小学生	中高生	大人	乳幼児	小学生	中高生	大人	
中高生事業	1	① 中高生の居場所づくり	随時	目標回数:6回程度 中高生等が乳幼児と接する機会を持てるようにするなど、次世代の子育て支援につなげていくため、地域に応じた事業の実施及び中高生等の居場所の確保に取り組む。	11	13	乳幼児		0	0	0	乳幼児		0	・不登校の子が毎週土曜日遊びに来てくれる。来てくれる時は、話をたくさん聞いてあげ、好きな卓球の相手をした。また、ドミノが得意で、2時間位かかる大作をつくる。スタートを来館しているみんなで観戦し、ゴールの時に大拍手し、自己肯定感を味あわせるよに見守っている。
		小学生					0	小学生		0					
		中高生					0	中高生		0					
		大人					0	大人		0					
		② ボランティアの育成 ・カブトムシを育てよう ・デイキャンプ翌日片付け ・科学工作 ・20区夏まつり ・もちつき体験と花もちづくり ・じどうかんまつり	各年1回				5	2	乳幼児		0	6	乳幼児		0
③ 次世代育成 ・乳幼児プール ・デイキャンプ ・ふれあい卓球 ・ふれあい卓球大会 ・バレンタイン大作戦	各年1回	5	8	乳幼児		3	5	乳幼児		3	小学生	27	20	・不登校の子が児童館に来館するようになり、卓球が好きな子なので「ふれあい卓球大会」に声をかけると、大会に向けての目標ができ、楽しそうに来館し練習する姿がみられた。その子の居場所になっているので、今後も継続して自己肯定感が持つ自信につながるように支援していきたい。	
④ 小計		10	10	乳幼児	0	3	11	乳幼児	3	20	小学生	27	52		
								中高生	30	4	中高生	30	4		
								大人	0		大人	0			
子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進	1	① 相談	随時	目標回数:10回程度 気軽に相談できる場や関係機関への相談窓口として相談を受ける。インターネットによる相談受付や専門員による相談の場を設定する。母子保健推進員・主任児童委員・保健センター・子育て支援センターとの連携を図る。	11	13	乳幼児	25	24	25	乳幼児		24	・両親が離婚、再婚で父親が血が繋がっていない、自虐の疑いがある6年の女の子が来館していたので、主任児童委員と小学校と連携して見守っていた。児童館に来ると、わざと物を壊したり、来館している子や職員にも暴力的で、児童館でストレス発散しているような感じが見受けられた。3月に卓球台をその子が故意ではなかったが壊して使用できなくなった件をきっかけに、その子の両親と話ができて、児童館での態度を伝え両親がその子と向き合える機会ができた。この事をきっかけに「4月からは中学になるので、悪いことをしている子に注意できるようにする。ボランティアもします。」と心を入れ替えてくれた。今後も見守っていききたい。	
		小学生	7	1			小学生		1						
		中高生	0	0			中高生		0						
		大人	34	30			大人		30						
		② 小計		25			31	乳幼児	25	24	25	乳幼児	24	1	小学生
								中高生	0		中高生	0			
								大人	34		大人	34	30		

項目	区分	具体的内容	実施日	目標・ねらい	年度評価		平成25年度の実施状況				平成26年度の実施状況				取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
					H25	H26									
地域の特性と活かした事業	1	① 地域交流 ・移動児童館(東山・若葉台) ・焼き芋パーティー	東山月1回 若葉台年2回 年1回	13	目標回数:12回程度 児童館児童センターが所在している地域の特性を活かした事業を実施すること。	11	12	9	乳幼児	24	16	乳幼児	91	・社会福祉協議会の地域福祉課と連携をとり、子育てサロンの援助を行った。前期の乳幼児クラブの参加人数が少なかったため、このサロンでPRをした結果、後期のクラブに入ってくれる乳幼児親子が増え、移動児童館でのPRが来館者増加につながった。 ・「焼き芋パーティー」では、姫と高田の畑でさつま芋掘り体験した。芋と、館庭に落ちてくる枯れ葉を使い、「焼き芋」を体験した。日頃、協力して下さっている地域の方も招待し、家ではできないよい体験や交流が持てた。 ・地域で伝承遊びを伝えていた団体が高齢になり、子どもに指導ができなくなってきた話を学校の教員に聞き、館長、地域、保護者の方に協力を得て、小学校1年生の授業の一環として児童館で「むかしあそび」を体験し楽しんでもらった。27年度も児童と小学校が連携して継続していく。	
		② 児童館相互の交流 ・体力チャレンジ番付 ・一輪車クラブ交流会 ・子どもスタッフまつり	体力チャレンジ 月1・2回 各年1回	18	18			乳幼児	421	25	乳幼児	138	・体力が低下している児童の体力アップをねらう内容を考えて遊びながら運動できるように全館で実施した。年に2回は全館で競い合えるよう実施し、盛り上がった。 ・一輪車クラブ交流会、子どもスタッフ交流会も、子ども同士のスキルアップにも繋がるし、他館の活動を見ることで刺激になりよい交流となる。27年度も引き続き行っていく。		
		③ イクメン支援事業 ・3館合同ファミリーデイキャンプ ・カブトムシの幼虫を育てよう ・南消防署施設見学 ・レッツ!フットサル	年1回	3	1			乳幼児	11	4	乳幼児	57			・ファミリー事業で、25年度のアンケートより希望のあった、「施設見学」や「運動遊び」を実施し、27年度に繋がる行事ができ、25年度より多く事業を展開できた。 また、またどの行事も家族の触れ合う良い時間となった。
		小計		34	28			乳幼児	456	45	乳幼児	286			
								小学生	566		小学生	617			
								中高生	15		中高生	16			
								大人	544		大人	474			

項目	区分	具体的内容	実施日	目標・ねらい		年度評価		平成25年度の実施状況		平成26年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
				H25	H26								
自主事業 (あれば記入してください)	2	① 自主事業 ・赤い羽根共同募金配分金事業「人形劇観賞」 ・歳末助け合い募金配分金事業「クリスマスコンサート」 ・福祉施設訪問 ・身障者センター共催福祉体験 ・支援児あそび日の広場	各年1回	5	/	12	13	6	乳幼児	94	6	乳幼児	162
								6	小学生	137	6	小学生	80
								6	中高生	17	6	中高生	6
								6	大人	149	6	大人	212
								6	乳幼児	94	6	乳幼児	162
		小計	5	/			6	小学生	137	6	小学生	80	
								6	中高生	17	6	中高生	6
								6	大人	149	6	大人	212

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

※「年度評価欄」は、次の内容で記入。

仕様書以上: 15~12点、仕様書に忠実: 11~9点、仕様書の一部不実施(軽微): 8~7点、仕様書の一部不実施(中程度): 6~3点、それ以下: 2~0点

自主事業のみ…内容・事業数等が期待以上: 15~12点、例年通り: 11~9点、例年よりやや劣る: 8~7点、例年より劣る: 6~3点例年よりかなり劣る 2~0点